



消防千葉

2016 No.543 平成28年2・3月号

平成28年3月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



屏風ヶ浦（銚子市）海匠支部

巻 頭 言

「災害に強い安全なまちづくり」

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 消防長 今井 定男



佐倉市八街市酒々井町消防組合は、かつて城下町として栄えた佐倉市、落花生の生産量日本一を誇る八街市、佐倉市と並び歴史的史跡が多く残る酒々井町で構成されており、管内の面積は197.64km²、人口約27万人で職員定数372名、4消防署5出張所で防災の任にあたっております。

昭和47年4月に職員定数113名、1消防署1分署1分遣所で自治体消防として発足してから本年度44年目を迎えました。

その間、目まぐるしく変化する社会情勢とそれに伴う地域社会の変貌の中で、災害の態様も複雑多様化し、消防行政は多くの課題に直面してきました。

皆様も良くご存知かとは思いますが、近年では東日本大震災に代表される地震災害をはじめ、地球温暖化の影響による竜巻、局地的豪雨による大規模な被害が発生するなど、これまでにない規模の災害が発生しております。

特に平成27年9月東北・関東豪雨災害による被害は甚大なものであり、当消防組合も緊急消防援助隊千葉県大隊として2隊を被災地である茨城県常総市へ派遣いたしました。

また、自然災害のみならず平成25年に福知山市で発生した露店爆発事故、平成27年に発生した広島市での雑居ビル火災など、器具の誤った取扱い、防火防災意識の欠如による被害、さらには世界情勢の混乱によるテロ災害など、人的災害による被害も多く発生しており、我々消防に課せられた課題はますます多大なものであると実感しております。

幸いにも消防組合管内では現在まで甚大な被害は発生しておりませんが、いついかなる災害にも迅速な対応ができるよう、平成23年度に『災害に強い安全なまちづくり』を基本理念とした基本構想と、この大綱に基づき10カ年にわたる基本計画を策定し、推進しております。

昨年は、平成25年から進めておりました酒々井消防署の耐震改修及び増改築工事が6月に竣工し、この基本計画に掲げている消防庁舎の耐震化事業がすべて完了いたしました。

また、この他にも先端屈折式はしご車の導入、平成27年2月に高度救助隊の発足と、消防組合としては大きく飛躍した年になったと実感しているところであります。

今後も少子高齢化や株価の乱高下など、混沌とした社会情勢の不安がある中、消防財政に押し寄せる波も大変厳しいものがありますが、今後もこの厳しい状況の中で知恵を出し合い、消防力の整備指針に基づく消防力を低下させることなく、さらなる向上を目指すことが私達消防に課せられた任務と考え、職員一丸となって努力してまいります。

平成28年新春を迎え 県内各地で消防出初式開催

平成28年の新春を迎え、恒例の消防出初式が1月5日(火)の勝浦市を皮切りに2月7日(日)の成田市までの間、県下48消防団において消防職・団員をはじめ消防関係者や地域住民の参加のもと盛大に繰り広げられました。

消防出初式は、新しい年を迎え、消防職・団員が地域の安心・安全を守る職責の自覚を新たにし、防火・防災に対する消防人の心意気を示すとともに、地域住民の防災意識を高めるために毎年実施しているものです。

各会場には森田千葉県知事、石橋消防協会長、消防協会各支部長などが出席し、人員、器具の点検に始まり、パレードや分列行進などが規律正しく行われ、長年功労のあった消防団員の表彰等も行われました。

また、海難救助訓練、建物火災を想定した消火訓練や伝統を感じさせるとび職組合員によるはしご乗りの演技、太鼓・ダンスの演技披露、それぞれの地域での特色ある出初式が、多数の地域住民や家族が見守る中、整然と行われました。

各地の消防出初式の様子を写真により一部紹介します。

☆勝浦市消防出初式 1月5日



石橋消防協会長の祝辞



☆千葉市消防出初式 1月9日(土)



石橋消防協会長の祝辞



はしご乗り演技



消防艇・航空隊による海難救助活動



中高層建物火災の消火・救出・救護活動

☆柏市消防出初式 1月10日(日)



千葉県知事表彰



幼稚園児演技



女性消防団員消防操法演技



吹奏楽部演奏・演技

☆成田市消防出初式 2月7日(日)



石橋消防協会会長の祝辞



小学生ダンス披露



くす玉割り



消防隊演技

千葉県消防協会臨時理事会の開催

千葉県消防協会臨時理事会が平成27年12月9日(水)に千葉市内で開催されました。

開会に先立って、第51回千葉県消防操法大会において総指揮者を務めた石井輝之理事に会長より記念品の「鳶口」の贈呈が行われました。

石橋 毅会長の挨拶の後、公益認定変更申請、千葉県西部防災センターの指定管理者の選定結果、平成27年度の職務執行状況等について報告がありました。

◆ 報告事項

- 1 公益認定変更申請について
- 2 西部防災センターの指定管理者の選定結果について
- 3 平成27年度の職務執行状況について
- 4 平成28年出初式について
- 5 第66回千葉県操法大会の実施要綱について
- 6 第25回全国消防操法大会の開催について



平成27年度婦人防火研修会を終えて

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 会長 竹内 久子

大寒の1月21日、千葉県消防学校講堂に県下各地から防火クラブ員をはじめ消防防災関係者多数のご参集をいただき、平成27年度の研修会が開催されました。恒例の当研修会は、昭和61年に開催以来、回を重ねて、今年は30回目を迎えました。

これも偏に、千葉県消防・防災関係者皆様方のご協力の賜と心より御礼申し上げます。

主催は、千葉県少年婦人防火委員会及び千葉県婦人防火クラブ連絡協議会、また、共催は一般財団法人日本防火・防災協会です。

開会に当たり、主催者代表の挨拶に続き、来賓の八田稔県消防学校長の紹介及び秋本敏文一般財団法人日本防火・防災協会長からの祝電披露がありました。

午前中は、私から「住宅防火対策について」と題して講話をいたしました。そのなかで、①住警器の全国平均設置率は81.0%・全国条例適合率は66.4%（総務省消防庁・平成27年6月1日時点）②千葉県の平均設置率は74.2%と全国平均に及ばず、全国順位は37位（千葉市は89.0%、条例適合率81.0%）③奏効事例として住警器の鳴動により早期発見された事例、また、防災品のおかげで初期消火ができ大事に至らなかった事例などを報告し、消防防災関係者が一丸となって、住警器や防災品の普及促進、住警器メンテナンスになお一層のご尽力いただくようお願いしました。

続いて、「平成27年版消防白書」の一部を紹介しました。

①火災総出火件数は43,741件（前年48,095件）と対前年比、減少はみられるものの②火災による死者数は1,678人（前年1,625人）そのうち住宅火災による死者数は1,006人（前年997人）と若干増加している。③出火状況は1日当たり120件の火災が発生しており、このうち建物火災が全火災の54%を占めこれまで最も多い。④出火原因は、放火による火災が18年間連続して依然1位、たばこ2位、コンロ3位と順位に変わりはない。⑤死亡者は高齢者（65歳以上）が69.5%を占めているが、今後、一人暮らしの高齢者が急増することを考えると深刻な問題である。



続いて、鎌ヶ谷市道野辺第二区自治会婦人防火クラブの小林トキ会長から活動内容の発表がありました。

鎌ヶ谷市の現況、幼年・少年・婦人防火委員会の現状、市婦人防火クラブ連絡協議会の活動状況に続き、道野辺第二区自治会婦人防火クラブの活動内容として、消防出初式への参加、春季・秋季全国火災予防週間での住警器の家庭訪問調査、広報車による火災予防の広報、住警器設置促進及び市総合防災訓練への参加のほか、視察研修では横須賀市の米海軍日本管区司令部消防隊を訪問し、消防設備などのスケールの大きさなどには参加者はみな感心した。

また、研修先でのクラブ員同士の親睦も深められたことも報告されました。

午後からの講演会は、落語家三遊亭とん楽師匠による「江戸期における火消しについて」と題してご講演を頂きました。

江戸の定義に始まり、武士、商人、職人など江戸に暮らす人々の姿や庶民の暮らし、江戸の3種類の貨幣、行政と町制、町奉行と奉行所、町役、町年寄、長屋の暮らし、江戸の防火、また、江戸前期の定火消し、臥煙、大名火消し、江戸後期の町火消しの誕生、吉宗と大岡越前などなど師匠のユーモアに富んだ軽快な小噺に参加者は聞き入っておりました

研修終了後、参加者からは「住警器や防災品の大切さを認識した」



「他のクラブの活動は参考になった」「三遊亭とん楽師匠はユーモアを交えて江戸の暮らしや、江戸時代の火災やその対策は興味深く拝聴した」「今回の研修は今後の活動に生かしたい」などの感想が寄せられました。参加者は終始熱心に聴講頂き平成27年度千葉県婦人防火研修会は成功裏に終了することができました。

おわりに、開催に当たりご協力いただきました千葉県消防学校、公益財団法人千葉県消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会およびご参加いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成27年度女性消防団員活性化シンポジウムの開催



平成28年2月3日(水)にポートプラザちばを会場として、公益財団法人千葉県消防協会が主催し、平成27年度女性消防団員活性化シンポジウムが開催された。県内から、106名の女性消防団員等が参集し、盛会であった。消防協会を代表し、石橋会長から開会の挨拶があり、引き続いて、赤羽消防団副団長で、元文化放送アナウンサーの小澤浩子氏から、「女性消防団員の課題と将来像」と題して基調講演が行われ、その後、4つの消防団から活動事例の報告があった。



小澤講師は、全国的に、消防団員が漸減する中で、女性消防団の数は増加の傾向が顕著であることを述べ、さらに、女性消防団員の中には、男性に伍して活動している例も引いて、女性消防団員が男性消防団員の単なる補完ではなく、その特性を活かした特色ある活動をしている事例を紹介した。

一方で、女性消防団の活動を妨げる要因についても言及し、現在の女性消防団員が直面している様々な障壁も挙げて、これらを克服していくことが課題であり、そのためには団幹部や団員相互のコミュニケーションの確保の重要性を強調した。

そして、女性消防団の将来像については、女性消防団員の特性を活かした新たな展開が期待されており、それぞれの地域特性を活かし、女性の視点を活かして、できること・できないことを明確にしながら、活動領域を拡大することが必要であるとの認識を示した。

引き続き、千葉市、柏市、浦安市及び銚子市消防団からそれぞれ活動事例が報告され、あるいは今後の取組に対する意気込みが説明された。既に地域の幼稚園などに出かけて防災思想の普及啓発事業を展開するなど豊富な活動実績を有している消防団もあり、これから積極的に活動に取り組むという決意表明をした消防団もあり、今後が楽しい事例報告であった。

最後に、情報交流会が行われ、県内の女性消防団員が一堂に会した機会を捉え、あちこちで所属の団を超えて話が弾み、また名刺交換などの交流が図られた。



多年の労苦に輝く栄光

主な受章者の紹介

《春の叙勲 12名》

(瑞宝小綬章)

元 市川市消防局 消防正監 石橋 秀雄 元 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部
消防正監 大野 孟

(瑞宝双光章)

元 印西市消防団 団 長 岩井 一郎 元 柏市消防局 消防正監 宇佐見義雄

(瑞宝单光章)

元 芝山町消防団 団 長 小川 重安 元 君津市消防団 団 長 鳥井 正俊
元 白井市消防団 団 長 小金谷恒久 元 山武市消防団 副 団 長 仲村 司
元 飯岡町消防団 団 長 下埜 實 元 千葉市消防団 分 団 長 西田 謙一
元 船橋市消防団 分 団 長 鈴木 正巳 元 九十九里町消防団 副 団 長 丸山 喜一

《秋の叙勲 10名》

(瑞宝小綬章)

元 柏市消防局 消防正監 小林 進 元 船橋市消防局 消防正監 堀 次郎

(瑞宝双光章)

元 山武市消防団 団 長 花澤 健

(瑞宝单光章)

元 大網白里町消防団 団 長 石原 實 元 勝浦市消防団 副 団 長 高梨 喜明
元 御宿町消防団 副 団 長 神定 善男 元 鴨川市消防団 団 長 長谷川清一
元 流山市消防団 副 団 長 神田 弘 元 長生郡市広域市町村圏組合消防団
元 大多喜町消防団 団 長 高梨喜一郎 副 団 長 吉野 實

《第24回危険業務従事者叙勲 31名》

(瑞宝双光章)

元 袖ヶ浦市消防本部 消防司令長 石井 正義 元 木更津市消防本部 消防司令長 鈴木 由郎
元 木更津市消防本部 消防司令長 市川 悟 元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部
元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部 消防 監 竹尾 要
消防 監 今関 一夫 元 市原市消防局 消防 監 中村 芳男
元 山武郡市広域行政組合消防本部 元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
消防 監 今関多田雄 消防 監 平山 治男
元 千葉市消防局 消防司令長 榎本 光男 元 我孫子市消防本部 消防司令長 古川 渉
元 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部
消防 監 岡本 幸雄 消防 監 光橋 正人
元 千葉市消防局 消防 監 片岡 利一 元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部
元 松戸市消防局 消防 監 栗原 誠 消防 監 密本 光夫
元 四街道市消防本部 消防司令長 小出 勝幸 元 銚子市消防本部 消防 監 美藤 宏文
元 銚子市消防本部 消防 監 佐藤 信雄 元 八千代市消防本部 消防 監 山崎 春男
元 市川市消防局 消防 監 佐藤 康則 元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部
元 小見川町外2町消防組合消防本部 消防司令長 渡邊 勝
消防司令長 實川 恒夫 元 松戸市消防局 消防司令長 渡辺 幹夫

(瑞宝单光章)

元 松戸市消防局 消防司令長 秋谷 三郎
 元 松戸市消防局 消防司令 黒尾丸 馨
 元 千葉市消防局 消防司令 齋藤 徹
 元 小見川町外2町消防組合消防本部
 消防監 菅谷 博

元 船橋市消防局 消防司令長 高山 和夫
 元 我孫子市消防本部 消防司令 寺田 俊夫
 元 千葉市消防局 消防司令 間野 定男
 元 千葉市消防局 消防司令 宮田 峯夫

《第25回危険業務従事者叙勲32名》

(瑞宝双光章)

元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防監 青柳 恒男
 元 千葉市消防局 消防監 秋葉 雅美
 元 市川市消防局 消防司令長 有路 正
 元 山武郡市広域行政組合消防本部
 消防監 岩崎 喜好
 元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部
 消防監 岡田 文夫
 元 旭市消防本部 消防司令長 押田 一俊
 元 成田市消防本部 消防監 桐谷 和秀
 元 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部
 消防司令長 佐久間 章

元 松戸市消防局 消防監 佐藤 誠一
 元 佐原市外五町消防組合消防本部
 消防司令長 柴田 幸一
 元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部
 消防監 島田 喜昭
 元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 数金 清美
 元 印西地区消防組合消防本部
 消防司令長 米井 正弘

(瑞宝单光章)

元 富里市消防本部 消防司令長 阿部 右武
 元 野田市消防本部 消防司令長 飯塚 諄男
 元 銚子市消防本部 消防司令 今宮 敏夫
 元 小見川町外2町消防組合消防本部
 消防司令 内山 嘉幸
 元 千葉市消防局 消防司令 大石 元
 元 船橋市消防局 消防司令長 押田 武男
 元 香取広域市町村圏事務組合消防本部
 消防司令長 久保木正道
 元 四街道市消防本部 消防司令 小柴 一夫
 元 市川市消防局 消防司令長 小山 幹夫

元 千葉市消防局 消防司令長 澁澤 潤
 元 浦安市消防本部 消防司令長 醍醐 政捷
 元 習志野市消防本部 消防司令長 高橋 司
 元 松戸市消防局 消防司令 武石 正夫
 元 成田市消防本部 消防司令長 内藤 正
 元 柏市消防局 消防司令長 中島 重徳
 元 我孫子市消防本部 消防司令 中野 正美
 元 千葉市消防局 消防司令 森 武久
 元 船橋市消防局 消防司令長 渡邊 延雄
 元 柏市消防局 消防司令長 渡邊 廣行

《春の褒章4名》

(藍綬褒章)

船橋市消防団 副団長 井戸 知一
 成田市消防団 副団長 岩立 一郎

千葉市消防団 副団長 大木 智弘
 柏市消防団 副団長 染谷 勝男

《秋の褒章3名》

(藍綬褒章)

銚子市消防団 団長 芝岸 弘
 柏市消防団 副団長 鈴木 哲

千葉市消防団 団長 原 久男

《文化の日千葉県功労者表彰3名》

御宿町消防団 団長 小川 征
 栄町消防本部 消防監 奥野 三男

一般社団法人千葉県消防設備協会

理事 秋葉 幹夫

東 南 西 北

東 西 南 北 目の前で☆訓練&ヘリ !! 千葉市消防局

10月10日(土)千葉市消防総合センター(千葉市緑区平川町)で、市民見学会を開催しました。千葉市消防総合センター敷地内での初開催でしたが、事前申し込みいただいた多くの方々に参加いただき大盛況となりました!



目の前で繰り広げられる消防隊の放水やレスキュー隊の救助訓練に大歓声上がり、さらに消防ヘリコプター「おとり」の訓練では、大人の方々からも感嘆の声がありました。

自由見学の時間には、チビッコ達が活躍!放水やロープ渡りを真剣な顔で挑戦してくれました。

今後も、より多くの市民の方に体験をしていただき、「身近で頼れる消防!」と感じていただけるよう、努めていきます。

東 西 南 北 拠点機能形成車及び積載資機材の取扱い合同訓練を実施 習志野市消防本部

平成27年10月14日(水)に市原市総合防災センターにおいて、習志野市消防本部に配備されている拠点機能形成車及び積載資機材の取扱い訓練を市原市消防局と合同で実施しました。

本訓練の目的は、緊急消防援助隊千葉県隊応援実施計画の変更に伴い、市原市消防局に配備されているエネルギー・産業基盤災害即応部隊の後方支援隊として、拠点機能形成車が登録されたことより、同市の職員と拠点機能形成車について知識の共有と連携強化を目的としております。

今後も、同様の訓練を実施し、災害活動時の円滑な活動を目指します。



東 西 南 北 映像の情報発信力を活用した PR 映像を制作 柏市消防局

柏市消防局(旭町消防署)では、秋季火災予防運動の認知度をより一層高めるために新たな取り組みとして、若い世代をターゲットとした映像の情報発信力を活用したPR映像を制作しました。

この映像は、火災の「燃える」と柏市のご当地アイドル「コスミック☆倶楽部」の『なるみん』こと加藤成美さんの「萌える」を掛詞にしたギャップに加え、消防隊員の「守る!」意気込みを交えた目が離せない映像(15秒)です。

SNSなどの情報発信により拡散を期待した広報を展開するほか、人の往来の多い柏駅周辺などの電子看板(デジタルサイネージ)での放映により火災予防意識の醸成を期待しています。



東 西 火災戦術研修会を開催！

南 北 柏市消防局

柏市消防局は、10月30日、水戸市消防本部消防救助課の箕輪重美氏を講師としてお招きし、「火災対応を考える～火災性状と注水要領」という題目で研修会を開催しました。

これは、複雑多様化する火災に対し、大量退職による消防力の低下を防ぐことを目的とし、消防の根幹ともいえる火災対応について、炎の特性を知り、効果的な注水要領を習得するために開催したものです。

隊員からは、「炎の特性を知り、最も効果的な筒先配備と注水要領について習得することができ、この知識を実践に活かしたい。」などの声が聞かれ有意義な研修会となりました。



東 西 医療機関における大規模災害を想定した秋季消防演習を実施！！

南 北 千葉市消防局

千葉市緑消防署では、11月8日(日)に医療機関での大規模な災害、火災を想定した秋季消防演習を実施しました。

この演習は、「平成27年度秋季全国火災予防運動」に先立ち、火災予防や防災意識の高揚を目的とし、また区民の皆様にも消防活動を広く知っていただくために実施しました。

演習会場となった「おゆみの中央病院」は市内の中核医療機関、また地域の救急医療機関として普段から消防行政に協力していただいております。訓練当日は、自衛消防隊として積極的に参加していただきました。



また、千葉市消防団緑区方面隊女性消防団も、火災による要救助者の避難誘導活動にあたっていただきました。

当日は雨天にもかかわらず、多くの区民の方々に見学に来ていただき、火災予防の重要性を再認識していただけたものと思います。

東 西 「消防フェスティバル四街道2015」を開催

南 北 四街道市消防本部

四街道市消防本部では、平成27年11月7日(土)、四街道市立中央小学校において「消防フェスティバル四街道2015」を開催しました。



来場した市民の方々は、はしご車搭乗体験、ロープ渡り体験、放水体験、緊急走行体験など普段体験することの出来ない様々なイベントに楽しく参加していました。特にステージ上で行った「特別救助隊に挑戦！」と題した特別救助隊員との腕相撲対決は熱の入った市民も多く、更には大声コンテストや消防クイズなど子供から大人まで笑顔の絶えない1日となりました。また、消防職員によるAEDを使用した寸劇は多くの方が興味津々で大盛況でした。



本フェスティバルを通じ火災予防の普及啓発活動や消防への更なる関心を深めることが出来ました。

東 西 南 北 柏レイソルとのコラボレーション！消防フェスタ

柏市消防局では、平成 27 年 10 月 31 日(土)に、本市がホームタウンとして支援している Jリーグ柏レイソルと東部消防署がコラボレーションして柏レイソルファン感謝デー消防フェスタを共催いたしました。

当日は、ハロウィーンデーということもあって、2,500 名ものファンの方々が様々な衣装に仮装して、柏レイソルのスタジアムに来場しました。ピッチ内外では、選手並びにマスコットのレイくんが仮装して登場、レイくんは消防車試乗、AED 講習とイベント体験し、MF 茨田陽生選手と GK 三浦龍輝選手は消防士に扮し防火防災 PR を兼ねてイベント参加をして頂きました。



東 西 南 北 松戸市小金北地区総合防災訓練の実施

松戸市大金平消防署は11月15日、17 町会 502 人が参加する小金北地区総合防災訓練に参加し、避難所開設訓練、応急救護訓練、防災備蓄倉庫内の資機材取扱訓練を実施した。



各町会の防災リーダーが中心となり、参加住民と協力しながら避難所内に町会ごとに区分けした居住スペースの作成、簡易トイレの組み立て、身近にある物品(サランラップ、新聞紙、ビニール袋)を活用した止血法などの訓練を行った。

東 西 南 北 松戸市小金北地区少年消防クラブの活動

小金北地区少年消防クラブは 11 月 15 日、17 町会 502 人参加の小金北地区総合防災訓練に参加した。

小学 4 年生から中学 3 年生までで構成されるクラブ員達は、今年度継続実施中の救急訓練で習得した知識・技術を駆使し、身近な物(サランラップ、新聞紙、ビニール袋、毛布等)を活用

した止血法、固定法、搬送法、心肺蘇生法を訓練参加住民へ実演を交えて説明すると、地域の子供達の熱意のこもった説明に、訓練参加者も熱心に耳を傾けていました。



東 西 南 北 消防団員の中継送水訓練を実施 柏市消防団

11月1日(日)柏市消防団員による消防水利未整備地域の水利確保と有効な消防活動を目的とする中継送水訓練を実施しました。



この訓練は火災シーズンに備え、地元消防団員約100名が参加

し、自然水利(用水路)を利用するポンプの基本操作からポンプ車各隊へ水管を長距離延長する中継送水の実践的な訓練を行い消防団の連携強化を図りました。



東 西 南 北 スマートな隊長を目指して！救急隊長研修を開催 千葉市消防局

千葉市消防局救急課では、平成27年11月26日、27日の2日間、救急隊長研修を開催しました。

この研修は、今年で4年目を迎えますが、増加する救急需要や、高度化する救急業務に対応するため、本年度は、カリキュラムをリニューアルしました。

研修内容は、救急現場でのマネジメント能力の向上を目指し、救急活動に関する法令について市の行政担当者や消防局所管担当から講義を受けるとともに、「現場における関係者とのコミュニケーションの取り方」「接遇要領」などを当局の指導救命士の指導で研修を行いました。

また、今回は県内の消防本部3名の方を視察研修として受け入れました。

終了後、参加した救急隊長からは、「この研修で学んだことを早速現場で実践する。」といった明日からの現場活動に対する強い意気込みが聞かれました。



東 西 南 北 ロープレスキュー講習会を実施 四街道市消防本部

当消防本部特別救助隊では、平成18年よりカーマントル構造のスタティックロープを主としたロープレスキュー技術の講習、検証を開始し、平成21年より本格運用を行っております。

今回、このロープレスキュー技術の再確認と新隊員の教育を行うため、消防大学校等でロープレスキュー技術を指導している藤原氏を講師に招き、11月25日、26日の2日間にわたり講習会を実施しました。

講習会では、基礎的な知識の再確認から、現場活動を想定したアンカーの作成訓練等を行い、大変有意義な講習会となりました。

今後は全隊員の知識、技術の底上げを図り、統一的な活動が行えるよう、更に訓練を実施していきたいと考えております。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 28年 3月

- 3月18日 千葉県消防大会
(青葉の森芸術文化ホール)
- 3月24日 千葉県消防協会定時理事会(千葉市)
- 3月25日 千葉県消防協会臨時評議員会(千葉市)



平成 28 年 春季全国火災予防運動の実施

平成 28 年 3 月 1 日～3 月 7 日

重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災防止対策の推進
- (3) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (4) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (5) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- (6) 林野火災予防対策の推進

平成27年度 全国統一防火標語
「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

<表紙の説明>

屏風ヶ浦（銚子市）海匠支部

銚子半島の南側、長さ10kmにわたる海岸の絶壁は、英仏海峡のドーバーの「白い壁」に匹敵するといわれ、「東洋のドーバー」とも呼ばれています。屏風ヶ浦の地層は、約300万年前のものから成り、波の影響で浸食された崖面が剥き出しになっていることから、地質学上の価値が高く、銚子ジオパークのジオサイトの一つにもなっています。また、江戸時代から景観の名所としても知られており、平成27年11月20日に国の名勝及び天然記念物に指定することが答申されました。

遊歩道が整備されているため、間近から屏風ヶ浦の地層と海に沈む夕日を見ることができます。

